



『保育の充実進んでいます！』

「子育てするなら千歳市」のスローガンを掲げている千歳市は、4月から保育園の新設や既存の幼稚園、保育園の認定こども園移行に伴う園舎の新設、増設などで保育環境の充実が進んでいます。

そんな中、社会福祉法人恵愛会の住吉保育園は、幼保連携型認定こども園に移行して「住吉認定こども園」となり、近隣に認可保育所の「第2住吉保育園」を新規開園しました。4月5日には新築されたばかりの園舎で開園式が行われ、集まった関係者や地域住民ら多くの人々が新たなスタートを祝いました。大原園長先生にお話しを伺ってきました。

Q:「開園おめでとうございます。とても素敵な園舎ですね。特徴をお聞かせください。」

A:「当園は、0～2歳児の保育を専門に行う私立認可保育所で、定員は45人です。ご覧のとおり、明るくゆったりとした造りになっています。天井埋め込み式の大型空気清浄機など、小さい子に特化した設備を導入しています。こういった充実した環境で子どもたちを育てられることを、とても嬉しく思っています。」

開園式には、住吉認定こども園の年長児童らが、お祝いの春の歌で花を添えてくれました。住吉保育園は、千歳市内で最初の私立認可保育園として長く保育を行ってきた実績がありますが、この新しい施設でさらに質の高い保育環境が整いました。きっとこの「第2住吉保育園」も地域に根ざした、多くの人から愛される施設になると確信しました。

《 営業部 : 国府田 》



北海道内初となる『札幌ライブオフィス』（コクヨ北海道販売株式会社）

今回は、札幌の本社オフィスをリニューアルし、北海道内で初となる「札幌ライブオフィス」をグランドオープンしたコクヨ北海道販売(株)を見学してきました。コンセプトは、E ZONE（エゾン）。北海道(E Z O)に根ざした企業であるコクヨ北海道販売が、お客様に喜ばれる価値を提供しつづけるために、社員がイチガン（ON E）となって課題に取り組むという働き方改革への思いが込められています。「準備」・「種まき」・「育てる」・「収穫」といった四季の巡りになぞられて、より発展する働き方を提案するE ZONE。ビジネスの可能性を広げる空間を、体感してきました。



営業部では、フリーアドレス席を採用し、好きな席につくことができるので、チームを超えたコミュニケーションが活性化して社員それぞれの仕事の状況、ノウハウの共有がしやすくなります。

ミーティングコーナー（オープンタイプ）は、オープンな空間にハイタイプのテーブルを置き、立ったままでミーティング、壁一面のホワイトボードにアイデアを書き出しながら、短時間で効果的な議論が出来ます。

DAYSカウンター／DAYSリビングは、オフィスのなかにあるカフェのような空間で、気分転換にぴったりで、部門を越えたコミュニケーションも生まれます。セミナールームは、お客様やパートナーを招いてセミナーやワークショップを行う空間で、外部の人とのコミュニケーションが生まれアイデアやノウハウの共有に繋がります。



これからのオフィスは、全体が見渡せる空間とコミュニケーションを活性化させる事が一番高い優先順位と感じました。社員のモチベーションも上がり、プラス思考の発想に展開していく雰囲気作りには最高の空間です。

是非、機会があれば体感してほしいと思います。見学をご希望の方はお声掛け下さい。

コクヨ北海道販売株式会社

〒003-005 北海道札幌市白石区東札幌5条5丁目1-7

TEL 011-815-5940

《 営業課 : 佐藤 》



『次男坊の名は、萌吉(もきち)と言います』

新年度が始まり、新入社員を迎え入れたお客様や人事異動で転勤など慌たしい1か月を過ごされたことと思います。

当社でも数年ぶりに新卒の社員を迎え入れ、研修などを通じて社会人としての一步を踏み出したところですが、彼がわが社のエースになるべく日々成長していく姿を期待して見守っております。

さて、カミノトピックス100号の時に我が家のペット紹介という事で、長男坊の諭吉(ヨーキー)について書かせて頂きましたが、諭吉も5歳になり月日の早さを改めて感じる今日この頃です。

実は昨年10月に長女が次男坊を連れて来て、もう一匹のペットが増え、それ以来狭い部屋に2匹のワンコと共に生活しているところです。この次男坊は3歳のトイプードルなのですが体重が5kgとやや大きめで、諭吉と比べるとほぼ倍ぐらいあるものですから、けんかをする時などは思わず「負けるな諭吉!!」と長男坊を応援している自分が。。。。

不思議なもので、体型とは関係なく上下の序列が備わったり、人間と同じように甘えん坊で要領の良い性格のため、帰った時の必ず仰向けで喜び姿を見た時には頬が緩んでしまいますが、困ったことに急に獣に戻ることもあり、手には噛まれた跡も複数箇所。

残念ながら家庭内の序列では悲しいかなトップではないのかなぁ？

休みの日には2匹を引き連れ散歩してますので、見かけた際には気軽に声を掛けて下さいね



◀ 社長 : 神野 ▶

『挑戦』

年に2回カミトピの順番が廻ってまいります。いつもながら何をと…今回も締め切りの期日を過ぎ、係の人に迷惑をかけてしまいました。ネタ不足もあり悩んでいました所…女子社員の方から、好きな剣道の事を書いてみたらどうですかとヒントを頂き、そうだ!!今回はそれにしようとして少し長くやってみます剣道を通して普段の生活、そして商売と結びつく事を書いてみます。

剣道は10級から上は十段まで(今は八段まで)審査会をへてそれぞれの段位、称号を全日本剣道連盟より頂きます。

その中でも剣道七段合格後10年の修業、稽古を経て受験資格のある皆様もテレビ放送等で知ってる人も居らっしゃるかとは思いますが剣道八段の審査会が年二回、京都五月、東京十一月とあります。

司法試験よりもむずかしいと言われる試験千人受けて4~5名、0.5%の合格率の難関の試験があります。毎年2000名近くの受験者の中から8~10名の合格者。

私も以前に受けて、不合格!!このままでは何度受けても結果は同じと思い、受審は休み今は札幌にて八段の先生方にひたすらかかっている稽古をお願いしています。

そうした中で最近はずいぶんですが、先生方からもご指導をより頂けるようになりました。合格する事がすべてのゴールの様な稽古から、今は合格は結果論、とにかく夢に向い「挑戦」する事が大切と、そこに向かう過程が一番大切な事と気づき始めました。

「挑戦」をする事の楽しさが少し感じれる稽古の日々になってきました。

日頃、私共の営業が皆様の所へ、いろいろな活動をしてお伺いしますが、この事もひとつの挑戦です。毎月々、目標数字があって、その事への「挑戦」です。目標数字を達成できる月、未達成の月、それでも月末明ければ、又一からの一か月の「挑戦」です。

カミノも来年は、お陰様で60年を迎える事ができます。これもひとえに今日まで、支えられ、ご指導頂きました皆様のお陰でございます。

今後ともあらゆる環境の変化に柔軟に対応しながら安全安心を最優先にお客様に存在を感じて頂ける様に社員一同、精一杯努力をしております。これからも変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◀ 副社長 : 松尾 ▶



すっかり雪も融けた4月某日『環境美化活動』で地域清掃を実施しました。



発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)